

近年における人口の状況

- 平成27年国勢調査において、本別町人口は7,358人となり、前回の平成22年国勢調査人口8,275人より916人(11%)の減少となっている。
- また、平成27年国勢調査人数を基にした国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計では、2045年推計で3,130人になり、平成22年国勢調査基準による推計値(4,215人)を下回り、人口減少が進んでいる。
- 住民基本台帳による平成31年4月末人口では、6,984人となり、7,000人を割り、令和元年12月末に6,899人、令和2年4月末では6,794人となっている。 ※令和2年9月末 6,758人

	人口										世帯数	
	12月末	対前年		社会増減の内訳		自然増減の内訳		12月末	対前年			
				社会増減	自然増減	転入	転出			出生	死亡	
H20	8,672			△ 127	△ 31	356	483	63	94	3,929		
H21	8,566	△ 106	-1.30%	△ 59	△ 47	361	420	46	93	3,944	15	
H22	8,394	△ 172	-2.10%	△ 116	△ 58	315	431	63	121	3,899	△ 45	
H23	8,225	△ 169	-2.10%	△ 104	△ 68	311	415	43	111	3,859	△ 40	
H24	8,081	△ 144	-1.80%	△ 115	△ 62	299	414	60	122	3,830	△ 29	
H25	7,914	△ 167	-2.20%	△ 107	△ 63	352	459	49	112	3,788	△ 42	
H26	7,729	△ 185	-2.50%	△ 115	△ 70	307	422	49	119	3,754	△ 34	
H27	7,551	△ 178	-2.30%	△ 100	△ 81	292	392	26	107	3,723	△ 31	
H28	7,406	△ 145	-1.90%	△ 94	△ 51	301	395	54	105	3,708	△ 15	
H29	7,253	△ 153	-2.10%	△ 55	△ 95	320	375	33	128	3,706	△ 2	
H30	7,082	△ 171	-2.40%	△ 83	△ 84	315	398	32	116	3,662	△ 44	
R1(H31)	6,899	△ 183	-2.60%	△ 71	△ 107	300	371	27	134	3,618	△ 44	

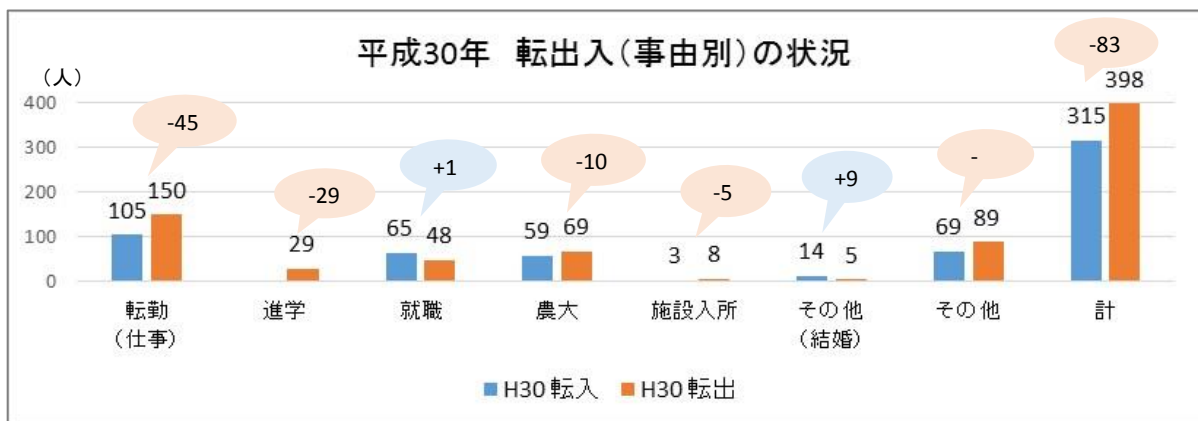
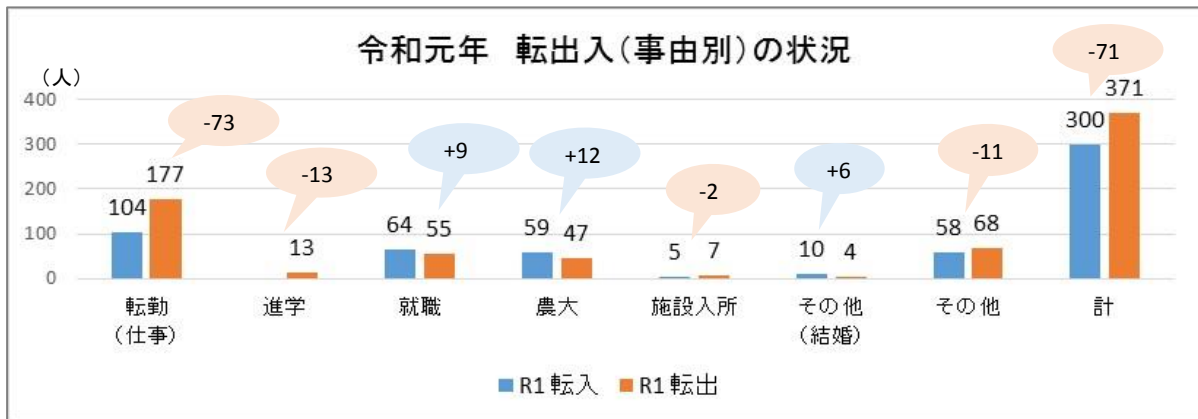
※対前年増減と社会・自然増減の差は職権消除による減数分の差(R1△5名)

◆状況としては、

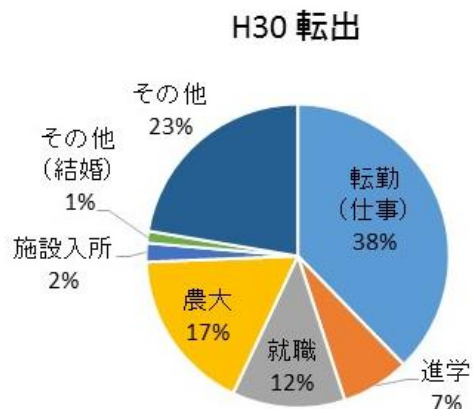
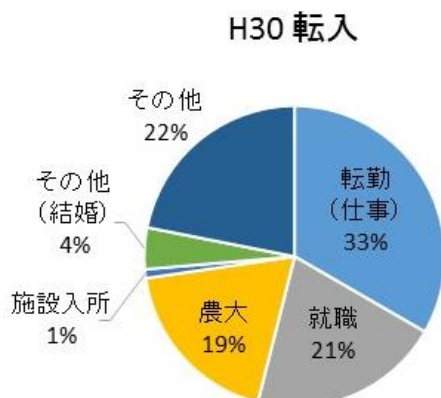
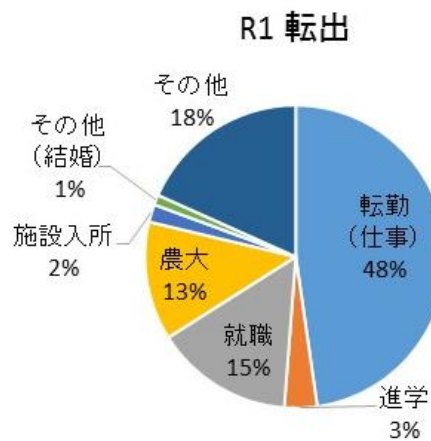
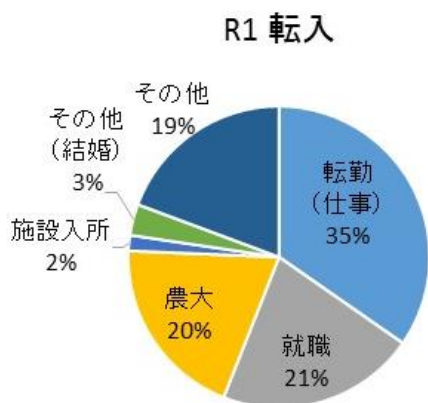
- ①人口減少数のうち、平成29年計から社会減数を自然減数が上回っており、自然減数が増加傾向にある。
- ②平成29年計において、社会増減の減数(55人)が大きく減少したが、平成30年計においては、社会減数(83人)が増加。令和元年度の社会減数は71人となり、全体としては減少傾向にあると捉えている。
- ③人口の年間減少数は過去5年平均で166人。社会減数は減少傾向にあるが、自然減数の増加傾向により年間減少数の増加傾向にある。

(参考値) 本町における事由別転出入の状況 <平成31年度・令和元年度>

※事由別人数は、転出入時における異動届内容による推測値(1月～12月ベース)



【事由別割合】

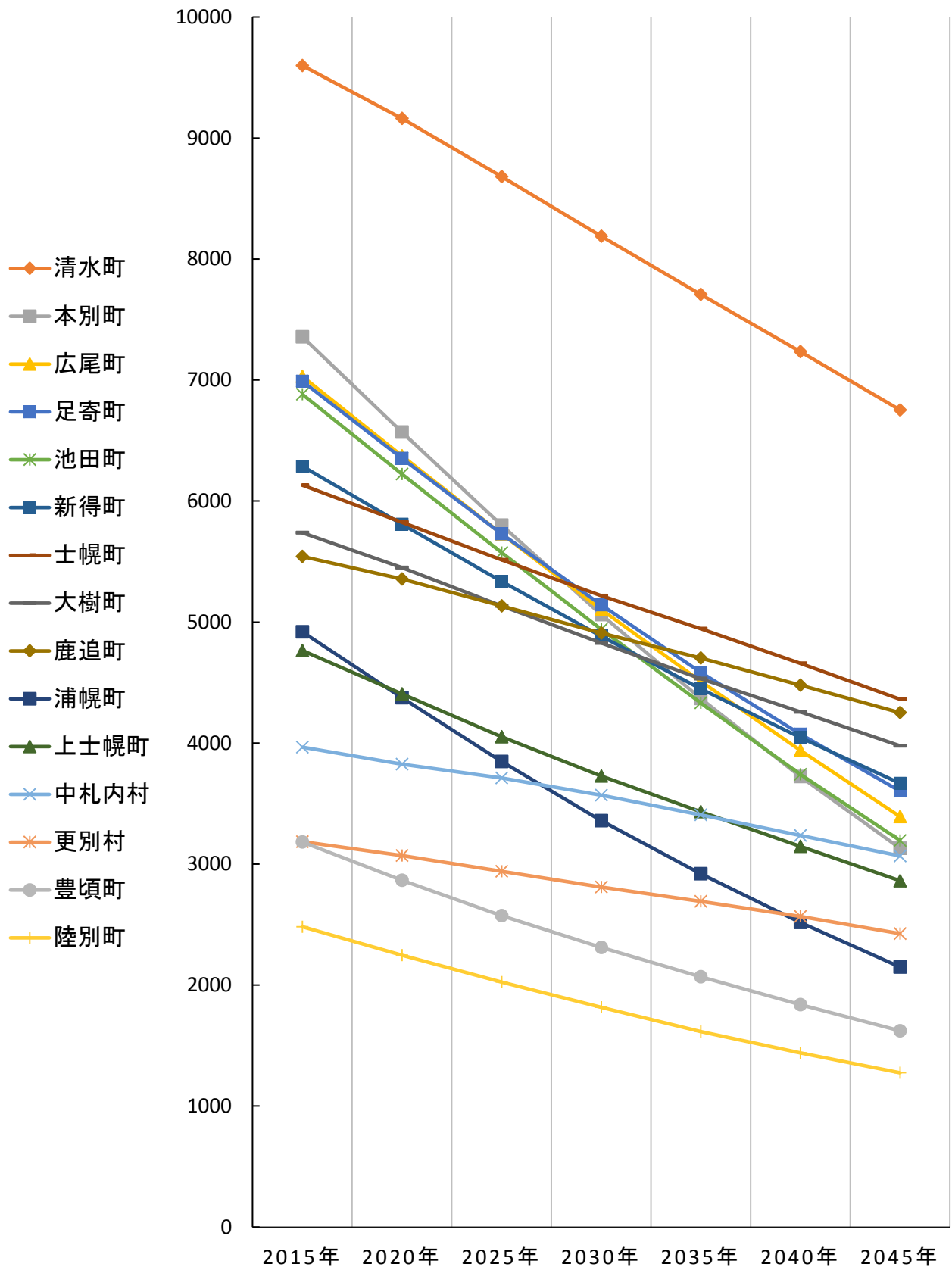


管内市町村別将来人口推計

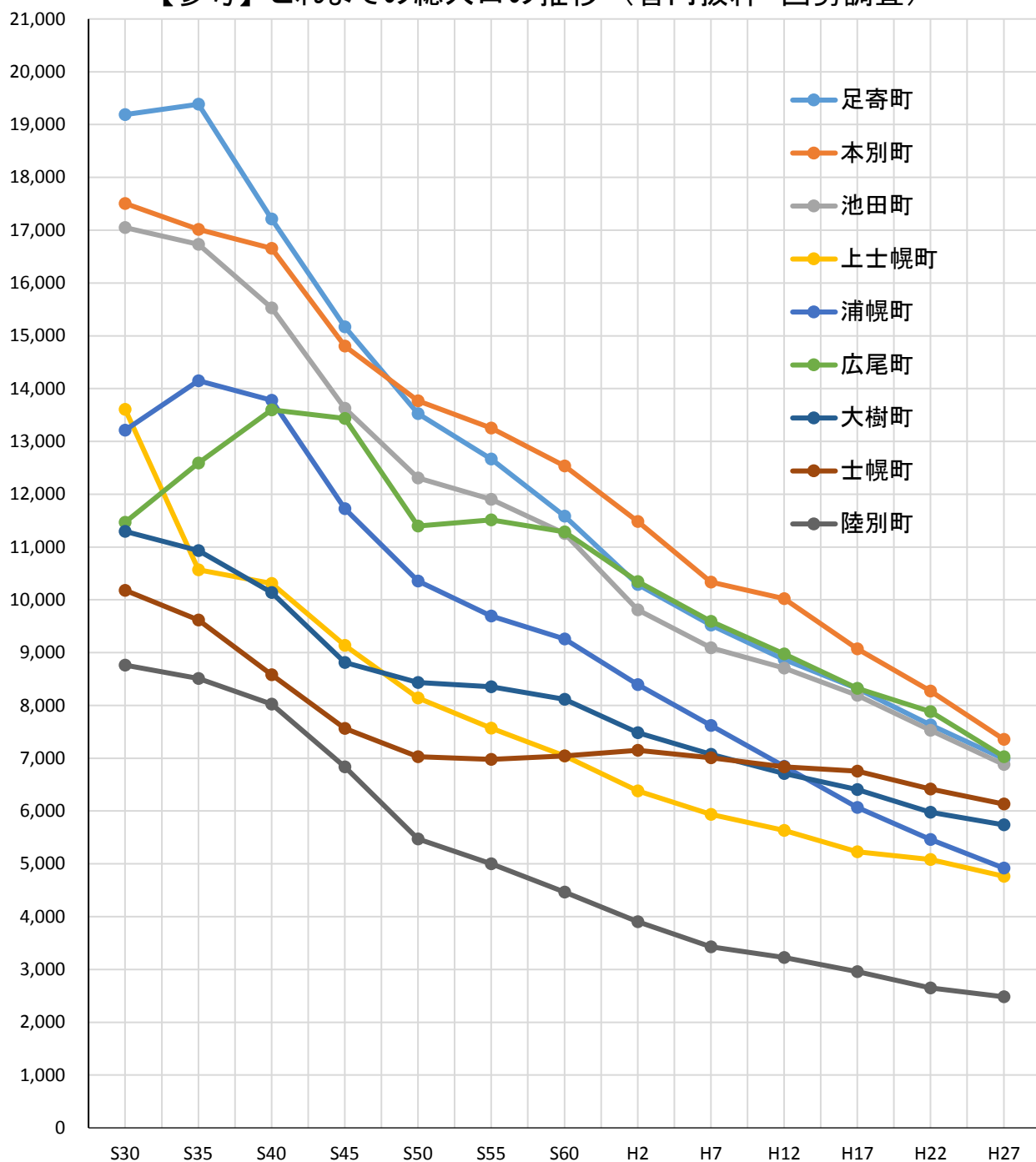
地域	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2045年 総人口(2015年を 1.0とした指数)
帯広市	169,327	169,138	167,296	164,213	160,263	155,438	149,749	0.8844
音更町	44,807	44,326	43,428	42,279	40,983	39,517	37,785	0.8433
士幌町	6,132	5,824	5,514	5,217	4,946	4,659	4,362	0.7114
上士幌町	4,765	4,406	4,051	3,728	3,432	3,147	2,862	0.6006
鹿追町	5,542	5,355	5,133	4,910	4,703	4,478	4,251	0.7671
新得町	6,288	5,808	5,335	4,882	4,449	4,046	3,667	0.5832
清水町	9,599	9,162	8,682	8,189	7,707	7,235	6,753	0.7035
芽室町	18,484	17,900	17,172	16,373	15,559	14,637	13,620	0.7369
中札内村	3,966	3,825	3,711	3,569	3,406	3,236	3,067	0.7733
更別村	3,185	3,070	2,940	2,809	2,692	2,568	2,425	0.7614
大樹町	5,738	5,449	5,134	4,827	4,532	4,258	3,977	0.6931
広尾町	7,030	6,374	5,728	5,104	4,510	3,939	3,392	0.4825
幕別町	26,760	26,350	25,937	25,349	24,651	23,805	22,841	0.8536
池田町	6,882	6,223	5,574	4,940	4,333	3,742	3,195	0.4643
豊頃町	3,182	2,866	2,573	2,311	2,068	1,839	1,622	0.5097
本別町	7,358	6,570	5,801	5,061	4,368	3,724	3,130	0.4254
足寄町	6,990	6,354	5,729	5,142	4,585	4,073	3,603	0.5155
陸別町	2,482	2,246	2,025	1,815	1,615	1,439	1,275	0.5137
浦幌町	4,919	4,375	3,848	3,359	2,920	2,518	2,149	0.4369
総計	345,451	337,641	327,636	316,107	303,757	290,338	275,770	0.7983

※国立社会保障・人口問題研究所推計（2015国勢調査基準値）

■ 将来人口推計の管内比較（1万人未満人口）
 （2015国勢調査基準 社人研推計）

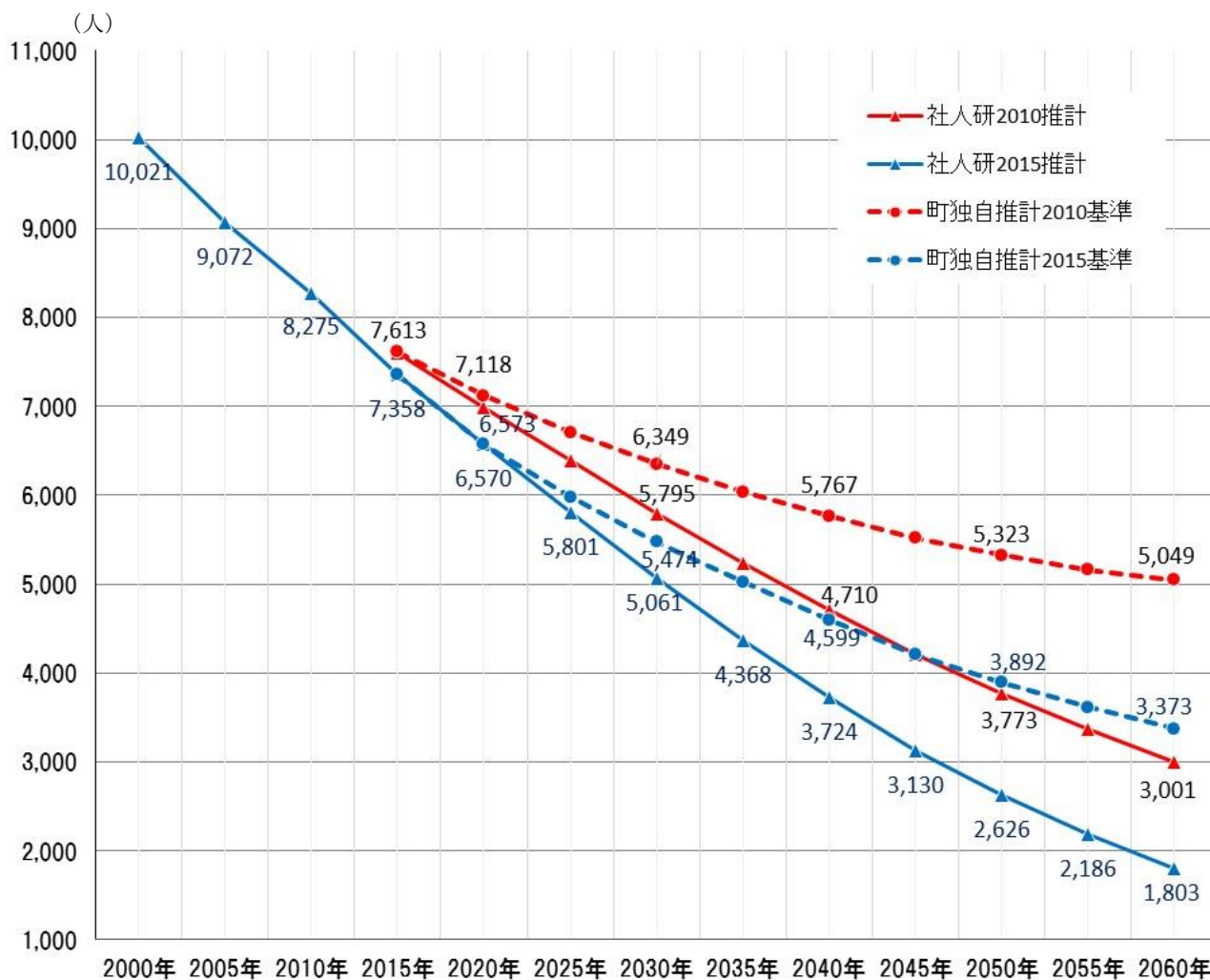


【参考】これまでの総人口の推移（管内抜粋 国勢調査）



調査年	足寄町	本別町	池田町	上士幌町	浦幌町	広尾町	大樹町	士幌町	陸別町
S30	19,191	17,507	17,049	13,608	13,214	11,469	11,296	10,181	8,763
S35	19,385	17,014	16,731	10,570	14,150	12,592	10,932	9,617	8,512
S40	17,214	16,654	15,529	10,309	13,780	13,598	10,137	8,581	8,023
S45	15,172	14,804	13,627	9,135	11,726	13,436	8,814	7,567	6,839
S50	13,525	13,769	12,306	8,143	10,354	11,399	8,434	7,028	5,474
S55	12,667	13,253	11,902	7,571	9,693	11,512	8,356	6,979	5,002
S60	11,586	12,534	11,255	7,042	9,258	11,285	8,118	7,044	4,466
H2	10,289	11,484	9,809	6,380	8,395	10,346	7,483	7,149	3,902
H7	9,522	10,336	9,093	5,936	7,621	9,593	7,075	7,010	3,429
H12	8,871	10,021	8,710	5,634	6,846	8,975	6,711	6,839	3,228
H17	8,317	9,072	8,193	5,229	6,068	8,325	6,407	6,755	2,956
H22	7,630	8,275	7,527	5,080	5,460	7,881	5,977	6,416	2,650
H27	6,990	7,358	6,882	4,765	4,919	7,030	5,738	6,132	2,482

将来人口推計の比較（2010基準→2015基準）



【将来展望独自推計の設定仮定値】

	2010基準 ※人口ビジョン	2015基準（置換）
合計特殊出生率	① 2020年までに 0.20 ポイント増加（現状 1.68→1.88） ② 2025年～2040年までは5年ごと0.05 ポイント増加 ③ 2040年以降は 2.08 を維持	① 2025年までに 0.20 ポイント増加（現状 1.64→1.84） ② 2025年～2045年までは5年ごと0.05 ポイント増加 ③ 2045年以降は 2.08 を維持
移動率	① 2020年までに移動率（転出超過分）が50%縮小 ② 2025年～2035年まで5年ごとに移動率（転出超過分）が50%縮小 ③ 20代～30代女性の移動率（転入超過分）を2035年までの5年ごとに10%程度の増加	① 2025年までに移動率（転出超過分）が50%縮小 ② 2030年～2035年まで5年ごとに移動率（転出超過分）が50%縮小 ③ 20代～30代女性の移動率（転入超過分）を2035年までの5年ごとに10%程度の増加

※2010基準の設定仮定値は、国の長期ビジョンや北海道人口ビジョンにおける平成52(2040)年の合計特殊出生率の目標値2.07（人口置換水準）を勘案しつつ、目指すべき将来の方向を踏まえ、以下の考えのもと、仮定値を設定し、将来人口を展望。